

当PDF文書は上に示されている企業に関する詳細レポートのアップデート版として作成されたものです。
 詳細レポート全体につきましては[弊社ウェブサイト](#)をご覧ください。

2020年8月12日、ナノキャリア株式会社は、2021年3月期第1四半期決算を発表した。

四半期累計 (百万円)	20年3月期				21年3月期				21年3月期 (進捗率) 通期会予	
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q		
売上高	146	294	435	553	129				38.3%	338
前年比	247.8%	34.7%	29.6%	11.3%	-11.5%					-38.9%
売上総利益	125	239	362	475	120					
前年比	462.4%	35.0%	31.1%	14.0%	-4.1%					
売上総利益率	85.8%	81.4%	83.2%	85.9%	93.0%					
販管費	625	923	1,295	1,581	334					
前年比	-5.7%	-16.5%	-26.0%	-28.8%	-46.5%					
売上高販管費比率	-	-	-	-	-					
営業利益	-499	-684	-932	-1,106	-214				-	-1,495
前年比	-	-	-	-	-					-
営業利益率	-	-	-	-	-					-
経常利益	-540	-734	-969	-1,144	-218				-	-1,496
前年比	-	-	-	-	-					-
経常利益率	-	-	-	-	-					-
四半期純利益	-446	-897	-1,137	-2,010	-219				-	-1,490
前年比	-	-	-	-	-					-
四半期利益率	-	-	-	-	-					-

四半期 (百万円)	20年3月期				21年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	146	147	142	118	129			
前年比	247.8%	-16.2%	20.1%	-26.8%	-11.5%			
売上総利益	125	114	123	113	120			
前年比	462.4%	-26.6%	24.2%	-19.8%	-4.1%			
売上総利益率	85.8%	77.0%	86.9%	95.8%	93.0%			
販管費	625	298	372	286	334			
前年比	-5.7%	-32.7%	-42.3%	-39.0%	-46.5%			
売上高販管費比率	-	-	-	-	-			
営業利益	-499	-184	-248	-173	-214			
前年比	-	-	-	-	-			
営業利益率	-	-	-	-	-			
経常利益	-540	-194	-235	-175	-218			
前年比	-	-	-	-	-			
経常利益率	-	-	-	-	-			
四半期純利益	-446	-450	-241	-873	-219			
前年比	-	-	-	-	-			
四半期利益率	-	-	-	-	-			

出所：会社データよりSR社作成

*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意。

*会社予想は直近の値。

*前年比が100%を超える場合は-として表示。

販売費及び一般管理費の内訳

四半期累計 (百万円)	20年3月期				21年3月期			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q
研究開発費	492	695	957	1,152	212			
前年比	-7.6%	-21.0%	-32.8%	-35.8%	-56.9%			
研究開発費を除く販管費	133	228	337	429	123			
前年比	1.6%	0.8%	3.7%	0.6%	-8.0%			

四半期 (百万円)	20年3月期				21年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
研究開発費	492	203	263	195	212			
前年比	-7.6%	-41.5%	-51.8%	-47.2%	-56.9%			
研究開発費を除く販管費	133	95	109	92	123			
前年比	1.6%	-0.4%	10.2%	-9.2%	-8.0%			

出所：会社データよりSR社作成

*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意。

2021年3月期第1四半期実績

- ▷ 売上高：129百万円（前年同期比11.5%減）
- ▷ 営業損失：214百万円（前年同期は営業損失499百万円）

- ▷ 経常損失：218万円（前年同期は経常損失540百万円）
- ▷ 当期純損失：219百万円（前年同期は当期純損失446百万円）

主要パイプラインの進捗状況

シスプラチンミセル (NC-6004)

ライセンス先であるOrient Europharma Co. Ltd.（以下、OEP社）と共同でグローバルに臨床試験を推進している。

欧米地域において、頭頸部がんを対象にNC-6004と免疫チェックポイント阻害剤「キイトルーダ®」との併用による第II相臨床試験として2019年7月に投与を開始した。2020年6月、第IIa相試験の主要評価項目（キイトルーダ®併用時の推奨用量の決定）を達成した。第IIb相試験開始に向けて各国規制当局との手続きを進めており、2020年中に開始する予定である。

エピルピシンミセル (NC-6300)

米国で軟部肉腫を対象に第I/II相臨床試験を実施している。対象疾患として第I相パート試験で有効性が示唆された軟部肉腫の一種である血管肉腫にターゲットを絞り、有効性及び安全性を確認する追加試験を実施している。同剤はFDAよりオーファンドラッグの指定を受けている。

パクリタキセルミセル (NK105)

日本を含むアジア地域を対象としたライセンス先である日本化薬株式会社（東証1部4272）から、乳がんを対象に第II相臨床試験を実施中の旨が発表されている。

導入パイプラインの進捗状況

遺伝子治療薬「VB-111」

2017年11月にVascular Biogenics Ltd.（イスラエル、以下VBL）から国内の開発および販売権に関するライセンスを受けた遺伝子治療薬「VB-111」について、同社が米国を中心にプラチナ耐性卵巣がんの国際共同第III相臨床試験（OVAL試験）を実施している。同パイプラインの国内開発に関し、遺伝子組み換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律（カルタヘナ法）に基づく第一種使用規定の厚生労働大臣・環境大臣連名による承認を取得した。2020年3月に、VBLが実施中のOVAL試験に関して、第三者委員会による中間解析において試験継続が推奨された旨が、VBLから発表された。これを踏まえ、同社はOVAL試験に日本から参画する方針を決定し、国内治験開始に向けた各種準備を進めた。

耳鼻科領域における新医薬品等の開発候補品 (ENT103)

セオリアファーマ株式会社との間で共同開発を行っている耳鼻咽喉科領域における開発候補品（ENT103）については、国内において中耳炎を対象とした第III相臨床試験を実施しており、2019年5月に登録を開始した。同剤は抗がん剤の開発と比較し短期間での製造販売承認取得を期待できるが、対象患者が例年より少なかったことや新型コロナウイルスの影響等により患者登録が同社の想定を下回り、試験期間の延長を見込む。

Acti-PRP（血球細胞分離機）

2019年4月、株式会社エイオンインターナショナルから「Acti-PRP（血球細胞分離機）」の国内販売権を取得した。産婦人科PRP研究会の会員施設に対し「Acti-PRP」を販売し、あわせて臨床研究を実施している。

新規開発パイプラインの進捗状況

同社独自の先進基盤技術である抗体/薬物結合型ミセル「ADCM（Antibody/Drug-Conjugated Micelle）」を次世代型DDS医薬品技術として開発を推進している。薬物を内包しセンサーとなる抗体を結合したActive型ミセル化ナノ粒子は標的と

する細胞へのターゲティング性能を高めることが期待されている。JCRファーマ株式会社と脳内デリバリー創薬に関する共同研究契約を締結し、同社のADCM技術や、JCRファーマ社が有する脳内に薬剤を届けるための独自技術であるJ-Brain Cargo[®]（血液脳関門通過技術）など、両社が持つ技術や知見を融合し、革新的な脳内デリバリー医薬品の実現を目指した共同研究を推進している。

事業開発の状況

当第1四半期以降の事業開発活動として、2020年7月に、同社を吸収合併存続会社とし、アキュルナ株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併を実施することを決定し、合併契約書を締結した。同合併は、同社のパイプラインの追加および拡充、核酸分野の開発、mRNA創薬の一環としてのワクチン開発の推進、人材の獲得などが期待できるとしている。

化粧品事業の状況

アルビオン社が販売する美容液エクラフチュールおよび薬用美白美容液エクシアALホワイトニングイマキュレートエッセンスIDD用の原材料を供給している。また、アルビオン社との共同開発製品であるスカルプトータルケア製品「Depth」のインターネット販売および美容室でのカウンセリング販売を行っている。

化粧品開発における皮膚浸透性の研究から、皮膚科領域における医薬品開発の可能性を見いだしており、今後、皮膚科領域での医薬品にも応用展開を目指す。

このリサーチメモは、掲載企業の[最新版レポート](#)にも掲載されています。

株式会社シェアードリサーチは今までにない画期的な形で日本企業の基本データや分析レポートのプラットフォーム提供を目指しています。さらに、徹底した分析のもとに顧客企業のレポートを掲載し随時更新しています。

ディスクレーム

本レポートは、情報提供のみを目的としております。投資に関する意見や判断を提供するものでも、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。SR Inc.は、本レポートに記載されたデータの信憑性や解釈については、明示された場合と黙示の場合の両方につき、一切の保証を行わないものとします。SR Inc.は本レポートの使用により発生した損害について一切の責任を負いません。

本レポートの著作権、ならびに本レポートとその他Shared Researchレポートの派生品の作成および利用についての権利は、SR Inc.に帰属します。本レポートは、個人目的の使用においては複製および修正が許されていますが、配布・転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。SR Inc.の役員および従業員は、SR Inc.の調査レポートで対象としている企業の発行する有価証券に関して何らかの取引を行っており、または将来行う可能性があります。そのため、SR Inc.の役員および従業員は、該当企業に対し、本レポートの客観性に影響を与える利害を有する可能性があることにご留意ください。

金融商品取引法に基づく表示

本レポートの対象となる企業への投資または同企業が発行する有価証券への投資についての判断につながる意見が本レポートに含まれている場合、その意見は、同企業からSR Inc.への対価の支払と引き換えに盛り込まれたものであるか、同企業とSR Inc.の間に存在する当該対価の受け取りについての約束に基づいたものです。

連絡先

株式会社シェアードリサーチ / Shared Research Inc.
東京都文京区千駄木3-31-12
HP: <https://sharedresearch.jp>
TEL : (03)5834-8787
Email: info@sharedresearch.jp